

古典文学

を読む会

性愛・家族・死

この国の文学は花鳥風月を素材として
優雅で精緻な言葉をつむぐかたわら
男と女、親と子、老いと死、滑稽と怪異など
人間の赤裸々な姿を描いてきました
豊穡かつ濃厚な古典文学の世界をめぐり
かつての日本人のあるがままの姿をながめ
その人生観、家族観、性愛観にふれつつ
千年にわたる情念の水脈をたどります



目次

A 古典文学の舞台	平安京の実像	1
B 文学の空間	流転する内裏	4
C 古典文学の展開	ジャンルと主要作品	7
D 文学史概観	古事記から牡丹灯籠まで	8
E 古典を音読する	名文・名場面集	11
F 七五調で覚える古文単語	認知症予防のために	17
第一章 嫉妬と怨霊		
第一講 夜離れ	蜻蛉日記	19
第二講 蛇体変身	中世説話集	21
第三講 出動する生き霊	源氏物語	23
第四講 疾走する悪霊	今昔物語集	26
第五講 亡妻の怨み	雨月物語	29
第二章 平安貴族の婚姻観		
第一講 妻の立場	枕草子 源氏物語	33
第二講 夫の立場	伊勢物語 枕草子	36
第三講 結婚の条件	和歌説話	39
第四講 妻妾同衾	平安歌物語	41
第五講 それぞれの悲哀	平安歌物語	43
第三章 背徳と乱倫		
第一講 老人と性愛	伊勢物語	45
第二講 頹廃する宮廷	今昔物語集	49
第三講 宮廷女官の愛の遍歴	とほずがたり	51
第四講 近親婚の実相	簗物語 増鏡	54
第五講 異類婚の系譜	南総里見八犬伝	57
第六講 王朝のポルノグラフィ	本朝文粹 説話集	59
第四章 武士と民衆の性愛と倫理		
第一講 高僧たちの認知症	沙石集	61
第二講 宣教師の見た日本人	日欧文化比較 懺悔録	64
第三講 天国の島	長崎海軍伝習所の日々	68
第四講 不倫天国・離婚天国	武士の家計簿	70
第五講 美化される情死	曾根崎心中	75
第六講 武士道と衆道	雨月物語 葉隠 男色大鑑	78
第五章 戦乱と死の美学		
第一講 勇将の最期	平家物語	83
第二講 都落ち	平家物語	87
第三講 平家滅亡	平家物語	89
第四講 敗者の運命	平家物語	92
第五講 死の道行	平家物語 増鏡 太平記	95
第六章 家族の実相		
第一講 酒と家族と文学と	万葉集	99
第二講 子どもの天国と地獄	日記・紀行	103
第三講 虚像の父権	更級日記	109
第四講 家族と死	大和物語 赤光 昭和万葉集	115
第七章 改鑄された伝統		
第一講 文明は西から	万葉集と古今集	121
第二講 文化のダイバシティ	万葉集と古今集	125
第三講 変容する桜幻想	古今集 仮名手本忠臣蔵	129
第四講 貧乳と大和魂	本居宣長と上田秋成	133
第五講 富国強兵と和歌革新	諭吉 鉄幹 子規	137